

平成28年度 部局長マネジメント方針

建設局長 いまい 今井 かねゆき 兼之



私の決意

本年4月1日、三重県南東沖を震源とした地震があり、携帯電話の緊急警報が鳴り響き、本庁舎10階でもゆっくりした揺れを感じました。被害報告は有りませんでした。近い将来南海トラフ地震の発生が想定される中で、言葉にしがたい緊張感がはしりました。

さらに、4月14日以降、九州地方で続いている地震により甚大な被害が発生しています。このことを、他人ごとではなく自分自身の問題として受け止め、災害発生時にどのような対応をするべきか事前に確認しておかなければなりません。

本市は地震対策として、昨年度、小中学校の耐震化を終えましたが、今後、万が一を想定し安全・安心のまちづくりに市をあげて取り組んでいく必要があります。耐震化のみならず、ゲリラ豪雨のような大雨に対する対策にも引き続き取り組んでいきます。

次に、住みたくなるまちづくりにも取り組む必要があります。

本市では、5路線の鉄道と25駅が整備され、公共交通の利便性が比較的高いまちですが、今後、長年の課題であった門真市から瓜生堂までの大阪モノレールの南伸についても積極的に取り組み、市民の皆様の更なる利便性向上を図ります。また、本市では景観計画を策定していますが、これからは景観形成についても市民の皆様とともに考え、より良い景観のまちづくりを進めます。

最後に、コンプライアンス（法令順守）についてです。

昨年、本市建設局幹部職員3人が刑事事件で逮捕され、結果として3人とも懲戒免職となる不祥事がありました。このことにより「コンプライアンス指針」が策定されたところですが、建設局としてはこれを契機に初心に帰り、今までのやり方でいいのか、一から考え、今後、法令違反が起こることの無いように日常業務に取り組んでいきます。